

耐久高等学校同窓会報

高

耐久






濱口梧陵記念館



館内展示物
(福沢諭吉との出会い)



NO. 45

ごあいさつ



同窓会長 大西 義弘 (高16期)

若船の
二手になりて
上りけり 子規

した。

早春の候 同窓会員の皆様には、お健やかに過ごしてのことと存じます。

令和二年が始まりました。昨年は、台風や豪雨など自然災害が多く発生しましたが、今年は穏やかな年であるよう願っています。

さて、昨年9月に同窓会総会が開催され、同窓会役員も新体制になり、早くも5ヶ月が過ぎました。同窓会役員で9月には文化祭、11月には「きのくに学びの月間」として母校を訪れました。文化祭では、各学年や各クラブの活き活きとした活動「きのくに学びの月間」では、事務局の白井先生の案内で1・2・3学年の授業を参観しましたが、どの学級も真剣に、落ち着いた授業態度で一同感心しま

今年、東京オリンピック・パラリンピック開催の年です。今からとてもわくわくしています。今、学校と連

携しながら記念事業に取り組んでいます。期日は令和2年10月11日(日)の予定です。会員の皆様には是非お誘い合わせて母校を訪れてください。

もう一つはミュージカル「TUNAMI 津波(稲むらの火)」の公演です。作・作曲・演出は高井良純氏、日本ミュージカル研究会・劇団JMAの方で公演されます。日時は未定ですが、和歌山県・兵庫県で開催予定です。日時が決まりましたら皆様にお知らせ致しますので、是非観劇にお越しください。

本年も会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく・魅力ある同窓会となるよう努めて参りますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。ご挨拶と致します。

令和元年度

同窓会総会開催

令和元年度同窓会本部及び有田耐久会総会が、9月22日午前11時から湯浅町地域福祉センターで80余名の参加を得て開催された。

第一部は、ファミリコーラス「ほほえみ」によるミニコンサートを鑑賞した。有田のわらべ歌など6曲が歌われ、最後に同窓会副会長池永義子氏が作詞作曲した「梧陵翁の夢を」が披露された。その迫力とパワーはまるで歌劇をみているようで、会場は感動の大きな拍手に包まれた。

第二部は、大西義弘会長(高16期)、和泉保廣有田耐久会会長(高22期)、笹井校長の挨拶で開会した。大西会長は、昨年「世界津波の日高校生サミット」が本校で開催されたこと、来年度の濱口梧陵生誕200年を迎えるにあたり、学校と連携しながら記念事業を令和2年10月11日(日)に開催すると報告した。和泉有田耐久会会長は濱口梧陵生誕200年記念事業を本部同窓会、学校と連携しながら取り組むと挨拶した。

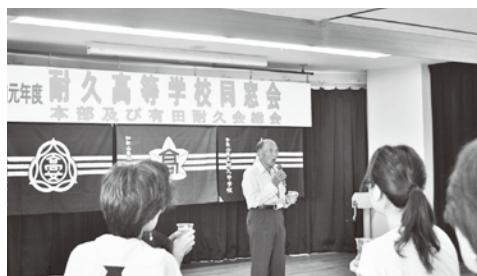
笹井校長は、「耐久高校生が地域を支え、ふるさとを大切にすること

を育むべく地域へ出て有田の人達と連携を深めている」と学校の取り組みの一端を話された。

続いて来賓の吉井和視(高22期)、浦口高典(理3期)・山家敏宏(高44期) 県議会議員、関東耐久会宮井義和副会長(理2期)、関西耐久会地引民子会長(高17期)、鈴木祥生副会長(高32期)、宮崎裕子幹事長(高31期)、和歌山耐久会西博義会長(高19期)が紹介された。

その後、議事が進行され本部役員の改選では全員留任された。続いて有田耐久会総会が行われ、役員改選では勝丸健司副会長(高22期)が退任され、副会長に平畑君子氏(22期)が就任された。

懇親会では、来賓の方々から挨拶をいただいた。榎木現造氏(旧中42期)の乾杯のご発声後、各テーブルで歓談が始まり、和気あいあいと会員相互の旧交を温め、和やかな内に閉会した。



支 部 連 絡 先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 西 博 義 〒640-8321 和歌山市岩橋 1690-47 Tel 073-475-2677	会長 地 引 民 子 幹事長 宮 崎 裕 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 3-8-1 Tel 072-753-1219	会長 林 紀 男 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィスコ ココ 桜バンケット Tel 03-3359-9520	会長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

同窓会活動報告

2019(R1)年

- 9.10 本部耐久会(本校)
- 17 本部・有田耐久会合同役員会(本校)
- 22 本部同窓会・有田耐久会総会
(湯浅町地域福祉センター)
- 10.19 稲むらの火祭り
- 25 本部・有田耐久会合同役員会(本校)
- 27 関西耐久会総会(ホテル大阪ペイタワー)
…笹井校長・大西会長・和泉会長・棚野・白井
- 29 第5回「志学ゼミ」(本校)
- 11.20 きのくに学びの月間・学校訪問(授業参観)
- 12.10 本部四役会(本校)
- 17 会報編集委員会(本校)

2020(R2)年

- 1. 2 組織強化支援事業高68期同窓会(橋家)
- 28 会報編集委員会(本校)
- 31 本部・有田耐久会役員新年会
- 2.14 本部・有田耐久会合同役員会(本校)
- 23 組織強化支援事業高40期同窓会
(ホテルグランヴィア和歌山)
- 28 卒業生クラス代表との懇談会(本校)
- 3. 2 第72回卒業証書授与式

令和元・2年度 有田耐久会役員名簿

役職	氏名	期
会長	和泉 保廣	高22
副会長	山崎 佳彦	高22
副会長	平畑 君子	高22
副会長	三角 治	高25
幹事	池辺 正晴	高15
幹事	鈴木 宏明	高28
幹事	谷岡 義則	高29
幹事	弓場 守	高30
幹事	山田 展生	高31
会計監査	生駒 正剛	高34
会計監査	柳 実	高19
事務局	古川 友子	高26
事務局	宮井 順子	高28
事務局会計	大浦 睦美	高28
顧問	下野 憲英	高13
顧問	柏原政夫美	高19
顧問	吉松 敏隆	高19

令和元・2年度 本部役員名簿

役職	氏名	期
会長	大西 義弘	高16
副会長	棚野 裕明	高18
副会長	見矢 義夫	高21
副会長	池永 義子	高21
副会長	神田 公子	高25
会計	森 裕美	高26
常任幹事	坂本 康寛	高18
常任幹事	法眼 貞子	高19
常任幹事	野下 康雄	高23
常任幹事	和泉 保廣	高22
常任幹事	大浦 睦美	高28
常任幹事	弓場 守	高30
常任幹事	小畑 英三	高18
常任幹事	大西 和彦	高29
常任幹事	栗田 佳樹	高41
会計監査	半辺みつ子	高18
会計監査	森岡 ゆか	高33
顧問	下野 憲英	高13
耐久R代表	西 博義	高19
事務局	白井 敏之	高34
事務局	兵衛 和樹	高52
事務局	岡本 剛典	高55㊦



「和歌山県庁耐久会」結成の思い出

中畑 仁志(高22期)

私は耐久高校を卒業して今年で半世紀を迎えますが、県庁在職時の心に残る思い出の一つに「和歌山県庁耐久会の結成」があります。10年ほど前、脳裏をかすめたのが、県庁内に幾つかの出身大学の会が結成されていたのですが、出身高校の会がなかったことと若き時の思い出(県庁職員として採用された昭和49年当時、有田県事務所に耐久会があったて荒々しい歓迎を受けたこと)でした。

内々に人事課で調べてもらったところ、県庁内組織全体で、耐久高校出身者は約300人在職していることでした。ちなみに、現在は県庁の機構改革や人員削減で約200人だそうです。紀北・紀中・紀南・県外と勤務地がバラバラな中、呼びかけをどうしたらよいものか。先輩や後輩に相談した結果、和歌山市内とその周辺地域に勤務する職員に呼びかけることになりました。県庁はもちろん県教育委員会や県警察本部に勤務する職員、また4名の耐久高校出身の県会議員(故浅井修一郎氏、吉井和視氏、浦口高典氏、

松阪英樹氏)に呼びかけるなど、様々な職場から約70人がつきホツとしたものでした。会場となった「アパローム紀の国」では、初めて顔を合

わす先輩と後輩、「お前も耐久か、職場はどこや」など、耐久高校出身のつながりを垣間見る一幕もあるなど、互いの話に花が咲きました。会がいたって和やかに進行し、最後にみんなで校歌を歌って、大いに盛り上がったひと時を過ぎすとともに、毎年2月県議会の初日に県庁耐久会を開くことを約束しました。今年も、初代和歌山県議会議長を務めた濱口梧陵翁の「生誕200年」を迎えます。「讃えよ耐久 吾等が母校」耐久会の益々の発展を祈念いたします。



あつま
東 猛 嗣 (高21期)
●海南店/海南市日方1521-19 TEL 073-483-5535
FAX 073-483-5556

経営サービス協同組合
理事長 東 猛 嗣 (高21期)
〒642-0032 海南市名高502-3
TEL 073-483-7874
FAX 073-483-1015

祝 濱口梧陵生誕200年
同窓会本部役員・会報委員会

第5回1学年志学ゼミ感想

1 目的

社会の様々な分野で活躍されている本校卒業生の方々から、自らの「生き様」や「人や社会との関わり」等についてのお話しをお聞きするとともに、それに関して生徒が質問や感想等を出し合い、社会の仕組み等について理解や認識を深める。

また、現在のキャリアに至るまで積み重ねられてきた努力や葛藤、大切にされていること等をお聞きすることで、生徒が将来への

展望や設計に対して、前向き、具体的に考える契機とする。

2 日時

令和元年10月29日(火)
12時45分～15時50分

3 対象

第1学年(202名)

4 概要

約60分間のゼミを、生徒を変えて2回実施。

ゼミは、講師先生お一人と約10名の生徒で構成。

ゼミの内容は、上記目的に則した講師先生からのご講話と生徒との質疑応答等。

各班ごとに1教室を使用。

志学ゼミ 社会人講師の先生方

【50音順・敬称略】

氏名	所 属 等	卒年
1 青山 歓生	国立和歌山工業高等専門学校 教授	S59
2 井上信太郎	紀州田村みかん 善兵衛農園	H22
3 川島 忠弘	MS和歌山株式会社 専務執行役員	S60
4 小池 有美	和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション部 理学療法士	H1
5 小畑 智哉	株式会社タイロンホールディングス 代表取締役社長	H12
6 小船 正人	JXTGエネルギー株式会社和歌山製油所製油部製油1グループ班長	H4
7 坂井 紫織	有田市立病院 看護師	S59
8 田中 誠二	株式会社エデュケーションリンクス 代表取締役	S55
9 谷井 康人	谷井農園 代表	S59
10 古川 勤	株式会社近鉄百貨店和歌山店営業促進部販売推進課係長	H15
11 松林 洋以	湯浅町役場総務広報課地域防災係	H16
12 三角 治	株式会社地域創生 代表取締役	S48
13 森本 真輔	株式会社丸十家具 代表	H13
14 山本 琢哉	Orange Blue 代表	H15



【生徒感想文】

2組 畑中 智貴

お話を聞かせていただいた中で、自分を支えるための土台が必要であるという言葉にとっても衝撃を受けました。僕は今ままで「習慣づける」ということが将来の糧となるとは思っていませんでした。しかし、お話を聞いて考えが大きく変わりました。

将来成功する秘訣は、簡単なことから習慣づけて、自分の土台を少しずつ作っていくことで、辛いことがあっても耐えられるということを学ばせていただきました。これからは、勉強や日々の生活で習慣づけられることを探して実行しようと思います。

3組 田中菜都美

先生と同じで私も初めからネガティブに考える癖があるので、「最低な状態より最高の状態を想像した方がうまくいく」という言葉を信じて考え方から変えてみようと思いました。

先生のおかげで今、私が将来のためにすべきことに気づきましたし、「人が喜んでくれたら自分も嬉しい」という考え方が素敵だと感じました。私もそんな風に思えるように将来のために頑張ろうと思いました。

4組 川瀬 翠優

お話の中で、「結果を思い描いてから行動する」という言葉が印象に残りました。私はもともと目標だけを考えて結果がどうなっているかなど考えていませんでした。

た。でも、この大会が終わったときにはこうなっていたいなと思いつき練習を頑張ると目標を達成することができました。「結果を思い描いてから行動する」ということはやはり大切だと言ったことが分かりました。

丁寧な挨拶の方法も実際に体験しながらお話を聞くことが出来て、楽しい志学ゼミの時間を過ごすことができました。

5組 池永 実優

「自分の選んだ道、その道でプロとなれ」という言葉が強く心に残っています。お話の内容からも仕事に対する熱意の大きさ、プロとしての意識の高さがものすごく伝わってきました。働き始めてから「プロになつてやる」と決心され、今も同じ場所です日々頑張られているという生き方がカッコいいと強く思いました。

自分の育ったところで、「これから先も人のために支えていきたい」という気持ちを強く持って「地元」にこだわることも。またそれを貫き続けている強さが素敵だと感じました。私がかっこいい、素敵だと感じたことは今の自分には欠けているところでもあるので、より一層頑張ろうという気持ちが大きくなりましたし、くよくよしていた気持ちに終止符を打つことが出来ました。

本当にお話を聞かせていただけてよかったです。

各種印刷・紙器・果実包装紙

辻本印刷所

〒649-0303 和歌山県有田市新堂208-1
TEL (0737) 82-4444・82-5400
FAX (0737) 83-6006

医療法人大和会

宮井クリニック 宮井 将博 (高34期)

(一部予約制) 泌尿器科 一般外科

TEL 0737-22-3333

〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1

診療時間 午前9:00～12:00 午後4:00～6:30 休 診 木、土、午後・日・祝日



株式会社 柏原運送

柏原 政夫美 (高19期)

〒643-0032 有田郡有田川町天満60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

◆地元、有田耐久会にご入会を！ (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)

特集

濱口梧陵生誕二〇〇年記念特集 Ⅱその四 Ⅱ

濱口梧陵に思う

前 寿 仁 (高校13期)



私の出身大学の同級生に濱口勝郎君がいて、同じ大学の商学部同期生にも濱口道雄君がいた。勝郎君は一般企業を退職して老後を送っているが、道雄君はヤマサ醤油の会長として経営に携わっている。濱口梧陵の子孫たちである。広村出身の濱口梧陵の興したヤマサ醤油は、今は銚子や東京にその本拠を移して、道雄君親子がこのヤマサ醤油を引き継いでいる。大学卒業後、偶然そのことを知り、耐久高校出身の私は、濱口梧陵の小説を書くことを決め、2016年文芸社より『第三の男傑』として出版した。梧陵は耐久社という学校を広村に作り、それが耐久高校として湯浅町に現在も存続し続けている。

勝郎君も道雄君も、なかなかハンサムで細身。頭が良くて人に優しい。濱口梧陵の血を引いている。

濱口梧陵は単に和歌山で知られているばかりでなく、とても広い交流網を持っていた。1841年、梧陵は江戸の医者三宅良齋を、ヤマサ醤油の江戸への拠点である銚子に招き、蘭医の良齋からオランダ語やオランダのことや海外の情勢を教わった。良齋の蘭医学のお蔭で、当時江戸で大流行のコレラが銚子ではほとんど見られなかった。三宅良齋の蘭医学の方法による対応が的確であったのだ。海外から持ち込まれたコレラ菌は漢方では対応できず、西洋医学がその効果を発揮したからである。良齋は佐倉藩の御用医となった。梧陵は良齋からの話を聞き、商人ながら国防の強化の必要を感じた。槍・刀による国防でなく、これからは砲術が重要であると考え、砲術の大家である菊池海莊を紹介してもらった。1850年のことである。

海莊は湯浅の人物である。梧陵とも親しくなった。そして彼から佐久間象山を紹介された。梧陵は31歳になっていた。梧陵は佐久間象山の門下生と

なった。砲術に通じ海防の重要性を説く象山より学ぶことが多かった。門人仲間には吉田松陰もいた。梧陵は象山より二挺のピストルを買い受けている。ここで梧陵は勝麟太郎(勝海舟)と知り合うこととなった。海舟は28歳。梧陵は広村に帰り「広村崇義団」を結成した。外敵から自分たちの身を守るというのだ。高杉晋作の騎兵隊はこの「広村崇義団」からヒントを得て作ったと言われている。

梧陵はやさしい。農民に細道や田んぼ道で行き会おうと必ず梧陵の方から道を譲り、「ご苦労さんです」と声をかけた。そして人はみな平等で、男も女も等しく尊いものであることを、事あるごとに身をもって説いた。これは、福沢諭吉の「天は人の上に人を作らず」の考えと同じである。松坂にいた時のこと、貧しい家の女性が金銭で買われて行く現実を心を痛め、梧陵は、その地城の売春宿を残らず禁止するようその筋に働きかけ実現せしめた。そのことで、ある夜梧陵は闇討ちにあい、鉄砲で狙われた。一発目の銃声を聞いた時、梧陵は焦らず、供の者に提灯の灯を消させ、足音を消して歩き続けた。槍術を極めた男である。精神も鍛練されている。こうして難なく帰宅した。銚子に行った時に関寛齋とも知り合った。司馬遼太郎の『胡蝶の夢』(新潮文庫)に書かれている。

濱口梧陵は嘉永6(1853)年家督を相続し七代目儀兵衛となった。34歳の時である。その年ペリーの黒船が浦賀に来航した。翌年の安政元年、南海地震が広村を襲った。濱口梧陵は、収穫した後の稲の藁を積上げたいわゆる稲むらに火を放ち、暗くなり始めた闇に避難の目印のため、幾つもの稲むらを燃やした。これにより行き場がわからなかった人々が、それを目標に高台へと登ってきた。大多数の人々が救われた。後に、文部省の尋常小学国語読本にて、学校で教えられた『稲むらの火』で彼の名は全国にその名を知られた。そして彼は広村に堤防を作った。人道主義者である梧陵は、医学にも熱心で、前記の蘭医、関寛齋に働きかけ、コレラの蔓延を防いだり、種痘所に寄付をしたり医療支援金の拠出を惜しまなかった。教育面では「耐久社」の創設。紀州藩の藩政にも勘定奉行として参画。初代の呉芸議長。また国政においては、初代郵便大臣たる駅通頭として郵便制度の創設に力を尽した。福沢諭吉は濱口梧陵のことを、この日本国を陰で支える第一人者として讃えている。

濱口梧陵の創設による耐久高校に学んだ私たちも、表立ってでなくてもいいから、日本を支えていく心構えは持たいたいものだ。

プロフィール

- ・ 昭和17年旧清水町生まれ
- ・ 耐久高校13期(昭和36年卒)
- ・ 慶応義塾大学卒業
- ・ 銀行勤務・定年退職後作家活動に入る
- ・ 「明恵さん」「第三の男傑」
- ・ 「世界の男南方熊楠」刊行
- ・ 埼玉県在住



津波に備え長堤を作り、また、外国の潮流に呑み込まれないために、濱口梧陵は何をしたか。

濱口梧陵は嘉永6(1853)年家督を相続し七代目儀兵衛となった。34歳の時である。その年ペリーの黒船が

浦賀に来航した。翌年の安政元年、南海地震が広村を襲った。濱口梧陵は、収穫した後の稲の藁を積上げたいわゆる稲むらに火を放ち、暗くなり始めた闇に避難の目印のため、幾つもの稲むらを燃やした。これにより行き場がわからなかった人々が、それを目標に高台へと登ってきた。大多数の人々が救われた。後に、文部省の尋常小学国語読本にて、学校で教えられた『稲むらの火』で彼の名は全国にその名を知られた。そして彼は広村に堤防を作った。

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

関西耐久会

関西耐久会総会

令和元年(2019年)10月27日(日)、関西耐久会総会をアートホテル

大阪ベイタワーにて開催しました。回を重ねて14回目となります。恒例の校歌斉唱から始まりました。指揮は萩平温子(10期)と歌唱指導は菊山ひろみ(13期)です。今年には163名の参加とあって、会場いっぱい元気な校歌が響き渡りました。司会は宮崎裕子(31期)と柴本優子(31期)です。

地引民子会長(17期)は、「Q&A関西耐久会」を使って今までの歴史を説明し、このように盛大な会になったのは皆様のおかげだと挨拶がありました。本部、関東、和歌山、有田から多数ご来賓としてご出席いただき、本部同窓会会長大西義弘様(16期)と校長笹井晋吾様から祝辞をいただきました。

講演会は、京都府立医科大学創薬センター長酒井敏行様(理1期)による「耐久高校での夢〜画期的抗癌剤開発の実現〜」です。講演に先立ち、同級生で親友の酒井洋典さんより酒井敏行様の楽しいエピソードを披露頂き、講演会へと繋いでくれました。酒井敏行様が高



校生の時、中学3年生の弟さんがわずか15才で骨肉腫によって亡くなるという辛い経験を経たそうです。そのことで、「将来は抗がん剤を見つけない!」という強い意志を持ち、研究を続けられがん治療薬トラメチニブの発見に至ります。トラメチニブは既存薬に比べて著しく高い治療効果を示し、現在60カ国以上で使用され世界のがん克服に大きく貢献しています。講演後病気の相談をしている方もおられ「感動した!」の声をたくさん耳にしました。続いて、永楽斎富之丞こと村田豊実さん(32期)が「安政教民伝」を講談で披露。我が濱口梧陵翁の話です。講談のテクニクの上手さに笑いが起こり、楽しませていただきました。いつもながらお元気で素敵なお梅本正之氏(7期)の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。今回からは、各テーブルに御食事が運ばれ、落ち着いて食べる事ができました。食事中、楠義隆教育長(27期)から湯浅町長のメッセージと「紀の国醬油マラソン」の紹介。細川和歌山県知事室長からは和歌山県の様々な活動の様子を紹介。シラス・金山寺味噌・干物・なれ寿司が朝一に届き、各テーブルにはなれ寿司が並びました。再会の喜びの声があちこちで上がっている中、各期ごとの写真撮影。今年も出席数第一位は15期でした。「ふるさと」の大合唱の演奏は練習なしの一発勝負でしたが皆様の協力で大盛り上がりでした。名誉会長の萩平勲(15期)さんの挨拶で、令和元年度の盛りだくさんの関西耐久会総会が終了しました。皆様、お忙しいところ、遠いところお越しください、楽しい会にしてください、ありがとうございます。来年も役員一同頑張つて企画を考えていますので、是非お越し下さいませ。楽しい時間を一緒に過ごしたいと思います。

幹事長 宮崎裕子(高31期)

関東耐久会

秋の恒例行事 歌舞伎観劇会を開催しました

関東耐久会は2017年の観劇会に続き、2019年10月22日、東京半蔵門国立劇場にて観劇会を開催し、同窓生合計37名の参加をいただきました。遠方より高齢の旦那さんの運転で参加いただきました同窓生もおられました。和気あいあいと、観劇前に全員で早めの昼食を頂き、会員諸氏の近況報告もいただきました。

観劇作品は、通し狂言「天竺徳兵衛 韓話蝦蟇の妖術使い見参」で、主役は中村芝翫です。三田寛子さんのご主人です。初演は1804年(文化元年)にされております。屋敷を押しつぶす大蝦蟇の出現や、本水を用いた意表をつく早変わりなど、一瞬たりとも見逃せない幕がつつきました。

当日は、前回の暴風雨とは違い好天に恵まれましたので、国立劇場をバックによい写真もとれました。春の総会、秋の行事での集まりを楽しみに散会いたしました。



幹事長 宮井義和(高25期)

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣 (株)ウイ・キャン・コーポレーション 取締役会長 岡 伸彦(高14期) 代表取締役 岡 勇作(高19期) 大阪市旭区中宮4丁目14番9号 TEL 06-6954-0346 FAX 06-6954-0577

ペットと泊まるログハウスの宿 パートナースハウスゆあぞ 横山 享(高14期) 湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411 URL:http://www.partnershouse.jp

丸新本家 湯浅醤油(有) 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1464 http://www.yuasasyouyu.jp

小畑産業株式会社 代表取締役 小畑 英三(高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 et-kobata@kbts.jp

田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦(高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299

母校への、ご理解とご支援を!

組織強化支援活動

高68期
4年ぶりの再会

令和2年1月2日(木)に、橘家さんにて「高68期同窓会」を開催いたしました。
卒業4年後、22歳になる年の開催が耐久高校では恒例となっています。
卒業間際に私たち幹事団が決定しましたが、4年後まで幹事であるということを忘れてしまわなにか不安で、周りの友人たちに「私幹事だからね!」と伝えていました。その甲斐あってか、開催1年ほど前から「同窓会まだ?いつやるの?」と同級生から声を掛けられるようになりました。開催の半年ほど前に幹事団で話し合うため、SNSで連絡をとり幹事団のグループを作りしました。県外に出ている人も多く、地元にいる数名で大まかな部分を進め、他の人にはメッセージで質問や意見を聞きました。私たちは往復はがきで出欠を確認することになりました。

立って動き回るだろうと考え
ていたのですが、立食形式で用意
してもらいましたが、結局み
んな椅子を出してきて親しい
友人たちと座っていたので、次
回行うときは椅子も用意して
らおうと思いましたが。約1時間
自由に過ごしてもらい、ビンゴ
大会を行いました。景品は32個
用意しました。目玉の景品とし
て、USJのペアチケットや、
マッサージ器、ワイヤレスイヤ
ホン、パンチングバッグなどを
用意しました。以外にも人気が
あったのは女性用のダイエット
器具でした。ビンゴは1時間も
かからずに終わり、閉会まで自
由に過ごしてもらいました。全
員が成人となりお酒を楽しむ人
も増え、終盤では大盛り上がり
のグループもありました。笑顔
の絶えない約3時間の同窓会は
あっという間に終わってしま
い、最後に恩師へ記念品として
ソー普拉ワーのブーケをお渡
しました。

4年ぶりの再会に高校時代の
思い出がよみがえり、友人・仲
間の大切さが身に沁みたひと時
でした。これから社会に出る人
も多く、次回はさらに成長した
姿で会えるのを楽しみにしてい
ます。

幹事 芝田名津美



前回優勝者の
萬ヶ谷哲さん(高21)から
優勝トロフィーが渡されました。

有田耐久会
第22回 有田耐久会(第51回耐久会)
ゴルフコンペへ

元号が令和になって初めてのゴルフコン
ペが9月19日(木)に有田東急ゴルフクラ
ブにて開催されました。
今回から幹事が柏原政夫美さん(高19)
から大西和彦さん(高29)に引き継がれま
した。柏原さん長年お疲れ様でした。大西
さん今後もよろしく願います。
今回の初参加者は3名で、このうち平成
2年卒業の女性もおり、和気あいあいとし
た爽やかな雰囲気を感じていました。優
勝とベストグロス賞は共に出水竹夫さん
(高18)でした。準優勝は東猛嗣さん(高21)、
3位は若松弘郎さん(高30)、BB賞は宮内
佳子さん(高14)でした。皆様おめでとう
ございます。

今回は令和2年3月18日(水)に有田東急
ゴルフクラブにて開催予定となっております。
皆様ご参加の程よろしく願い致します。
お問い合わせは、大西和彦090-46
49-3059、弓場守090-2210-
7073 までお願いします。

弓場 守(高30期)

<p>有限会社 衣奈不動産鑑定所 不動産鑑定士 衣奈 伸和 (高18期) 〒643-0004 湯浅町湯浅2026-5 豊国ビル TEL 0737-65-3066 FAX 0737-62-4066</p>	<p>日本料理 うさ丸 前田利三(高12期) 有田郡湯浅町庁舎前 TEL 0737(63) 2929</p>	<p>橘家 Wedding Hall TACHIBANA 橋爪正文(高39期) ご予約は TEL 0737-88-7005 FAX 0737-88-7775 URL http://www.tatibanaya.jp 〒649-0434 有田市宮原町新町17</p>	<p>同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!! 有田川温泉 魚茶屋 有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

高13期

「喜寿」記念の同窓会

高校13期（昭和36年卒）同窓会の始まりは、還暦を迎える年でした。その後65才、68才、71才と四回開かれ、今回は77才、喜寿を迎える祝いの年でもあるので、三月に世話人が集まって同窓会をやるかどうかから話し合いをしました。もう最後の同窓会になりそうだから「やりましょう」ということで開催することになりました。

当日までの準備は世話人代表の下野憲英さんが殆どやってくださいました。前回の反省会の意見に「六年後は盛大に」という声もあり、みんな楽しんで盛り上がりそうな「ビンゴゲーム」を行うことに決まりました。次の世話人会で当日の役割も決め準備を進めました。

当日（令和元年8月24日）は、記念写真の撮影後、同窓会場に移り、山本富久さんの穏やかで、語りかけるような挨拶でスタートしました。にこやかに会を進めてくれるのは、司会の小野泰尚さん。物故者への黙祷のあと、赤い上着がかっこいい古田順一さんの乾杯で会場が一気ににぎやかになり、歓談が始まりました。同窓生つて会うとすぐに話が弾みます。思い出の写真がスクリーンにアップされるのを見ながら、おいしい食事をいただきました。

会の目玉でもあるビンゴゲームは、係の境勝平さんの有田弁の説明に大笑い。みんなスクリーンに映し出される「数字」に集中して一喜一憂しました。食べるのも忘

れて76人全員がビンゴになるまで楽しく続けました。貰った景品を見せ合うのも高校生みたいでした。

た。ビンゴは大成功でした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に前晴夫さんの「同窓会は今度で最後になるでしょうが、今後はクラス毎に同級会をやって下さい」との挨拶と「また逢う日まで」の歌とともに一次会は閉会しました。二次会は、クラス毎に分かれてそれぞれの会場へ移動しました。60才からの長い間、同窓会のお世話をお願いしてやって下さった下野さん、お疲れ様でした。参加できた私は、幸せでした。世話人 保本ゆう



高30期

我ら還暦 同窓会

まだ夏の日差しが残る晴天の9月15日（日）紀三井寺「はやし」にて30期同窓会が開催されました。令和元年、新天皇同級生の還暦と、まさに新時代の幕開けにふさわしい年に、男子56名女子64名総勢120名が集まってくれました。また吉田先生、原先生、藪添先生が御出席くださいました。

目玉としての企画第一弾は、吉田先生の米寿、原先生の喜寿、藪添先生の75歳のお祝い、赤いチャンションを着た我々還暦代表の西島君が、四つ用意されたケーキの年の数のローソクを吹き消して、ベースディソングを歌い、一同で祝いあうというオープニングでした。

生馬幹事長のユーモアあふれる軽快な司会に、ちびまる子ちゃんの友蔵に扮した山崎君、女子幹事有志の艶やかな（？）振り袖姿とダンスドレス姿（僭越ながら私も！）での「おもて・な・し」は、目玉企画第二弾ということでしたが、驚かれた方には「ごめんなきいね」。目玉企画第三弾は、ハズレなしの「くじ」でした。10名程に高額の商品券が当たるといので、楽しい会話も中断して、受付の際に手渡されたマイナンバーにドキドキ！タワシの人有り、スポンジの人有りでしたが、とても盛り

上がったくて、皆様、有り難うなりました。最後は各クラス男女の幹事の皆様、幹事長の生馬君、サポートして下さった皆様、ご苦労様でした。グループラインというツールを使い、アナログ世代の私たちでも迅速に情報交換が出来たのも、前回よりかなり出席者を増やせた一因になりました。御協力、心より御礼申し上げます。既に幾人かの同級生の方が鬼籍に入られています。元気に笑顔で集えることに感謝するとともに、その方たちの分も毎日を大切に生きて行かねばと強く思った一日でもありました。そして次回開催に向けて、さらにエイジレスでパワーアップしていきたいものです。

上がったくて、皆様、有り難うなりました。最後は各クラス男女の幹事の皆様、幹事長の生馬君、サポートして下さった皆様、ご苦労様でした。グループラインというツールを使い、アナログ世代の私たちでも迅速に情報交換が出来たのも、前回よりかなり出席者を増やせた一因になりました。御協力、心より御礼申し上げます。

前回は、時の流れは残酷です。しかし、名札で確認して話しはじめると、あつという間にあの頃に帰れるのも同級生ならではの。二時間ほどの一次会では語り尽くせない思い出話は、二次会、三次会と場所を移して花咲かせたことでしょうか。宴の締めくくりは、校歌。そして、お三方の先生に生徒愛に満ちたお言葉を頂戴しました。私たちのこれからの人生に熱いエールを送って下さり、健康を気づかっ下さり、胸一杯で聞き入りました。また、お帰りの際のお車を皆拍手をもってお見送りさせていただきました。その時の先生方の耐久時代の頃とお変わりのない笑顔に、誰しもがいつまでもお元気で長生きして下さいと願わずにはいられなかったことでしょう。先生方お忙しい中、本当に有り難うございました。そして、地元はもとより遠方から参加

して下さった皆様、有り難うございました。最後に各クラス男女の幹事の皆様、幹事長の生馬君、サポートして下さった皆様、ご苦労様でした。グループラインというツールを使い、アナログ世代の私たちでも迅速に情報交換が出来たのも、前回よりかなり出席者を増やせた一因になりました。御協力、心より御礼申し上げます。



たたえよ耐久 我らが母校
そして、我らが同級生
See you again
屋式（三尾川）まこ

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。（事務局）

平成30年度予算・決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

耐久高等学校同窓会

1. 収入の部

Table with 5 columns: 予 算 額, 決 算 額, 増 減, 備 考. Rows include 入 会 金, 会 報 広 告, 会 報 協 賛 金, 寄 付 金, 雑 収 入, (収 入 計), 前 期 繰 越 金, (収 入 合 計).

2. 支出の部

Table with 5 columns: 予 算 額, 決 算 額, 増 減, 備 考. Rows include 1. 運 営 費, 2. 活 動 費, 3. 諸 費, 4. 繰 出 金, 5. 予 備 費, (支 出 計), (支 出 合 計).

2,010,258 - 1,138,363 = 871,895 次年度へ繰り越し

同窓会会計について

※収入…30年度は、入会金として全日制 5,000円・定時制 2,500円を終身会費として頂いています。(中途転校・退学の場合は返金) 他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。
※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

郵便振替口座の開設について (口座番号) 00900-5-298293 (口座名称) 和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局) 湯浅郵便局



万葉の地「和歌の浦」を訪ねてクラス会

「若の浦に潮満ち来くれば 瀉を無み葦辺を指して 鶴鳴き渡る」万葉の時代に山部赤人が和歌の浦の絶景を詠んだ有名な歌。私も高校時代に5歳のチコちゃんに負けないうらい一生懸命勉強したのでこれくらいは知っています。高校卒業から今年でちょうど50年だそう。玉津島神社をかわきりに「語り部」さんの案内で不老橋、徳川頼宣が水上楼閣として海辺に建立した観海閣をめぐりました。私たち県民でもあまり行くことのない和歌浦ですが、今回この地を巡り歴史的な奥深さを知り私にとって思ってもみない勉強となりました。頭の中が知識でいっぱいになった後はそう。宴会・宴会です。聞くところ2時間の飲み放題付き税込み5000円、ボツキリとのこと。幹事さんよくぞ見つけてくれました。宴会半ばで全員が近況を報告しました。40歳近い娘がまだ結婚していないのが心配。今さつき初孫が生まれたと連絡があった。(みんな拍手)
・ 企業内保育所で働いている。毎日忙しい。
・ 県外であった大きなランドゴルフ大会で二つ賞をもらった。
・ 夫が経営する事務所でも今も仕事をしている。
・ コンサートや映画鑑賞など楽しんでる。
・ 日本の山を登り(荒らし)まくっている。
・ 早朝から午前中ゴルフ場で働いている。起きるのがつらい。
私たちに宴会の給仕をしてくれたひとりに耐久の卒業生がいた。今、和医大に行っているとのこと。患者さんに慕われるお医者さんになってほしい。がんばれ私たちの後輩。
みんなこれまでそれぞれに自分の人生を歩んできた。もうすぐ70歳。これからはお互い無理をせず残りの人生を生きていきましょう。何かの縁があり50年前、耐久高校という学び舎で青春のひと時を共に過ごした仲間たち。
今日までに4名のクラスメイトが先に旅立ちました。
3年4組 前山たす子





部活OB・OGたちの絆

ソフトテニス部の巻

ソフトテニス部は、3学年が男子5名女子6名、2学年が男子10名女子2名、1学年が男子11名女子2名です。毎日の練習は学校のテニスコート(クレーコート)と、なぎの里にある人工芝のオムニコートで行っています。本年度の総合体育大会の成績は男子団体は県ベスト8に入賞し、近畿大会へ出場しました。男女とも部員数は減少しており、三年生が引退した現在、女子は団体戦出場に必要な6名を下回り4名となり、新人大会は他のクラブに所属している選手2名の助けを借りて出場している状態です。しかし少人数なが

らも、男子と合同で練習するなどをして修練を重ね、新人大会の団体戦では男女ともシード権を守っています。

私が本校でソフトテニス部に所属していた時代は、頻繁にOBの方々コートに来て熱の入った指導をしてくださり、時には差し入れと温かいお言葉をいただいたことが印象に残っています。クラブ活動を通して先輩方から多くのことを学ぶ機会になればと考えていますので、出来ればテニスコートを訪れていただき、選手たちと一緒にラケットを振っていただけたらと思っています。

ソフトテニスの大会はオムニコートで行われるため、長年、学校のテニスコートの改修要望しておりました。近々本校テニスコートもオムニコートになることが決定しました。日々の練習の中でみんな一丸となつてがむしやりにボールを追い、そこから今しか得られない大切なものを感じとってほしいと思います。

顧問 中本 学

紡ぐ

俳壇・歌壇

- ・冬晴や細き枝先際立ちちて
中川博子(高18期)
- ・隙間風通す隙間に月明り
早川悦子(高18期)
- ・綿入れにわらじで通ひし耐久舎
語りし村長よ 学の尊さを
楠本弘子(高女28期)
- ・若き日の夫の姿を垣間見る
孫に教えるキャッチボールに
下野香代(高20期)

「はやぶさ2」の挑戦

2019年11月13日、惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウの周回軌道を離れ、地球に戻る旅を開始した。「はやぶさ2」の目的は、太陽系の成り立ちや地球の生命誕生の謎に迫ること。そのため、約79万個の太陽系小惑星から選ばれたのが、惑星でも原始的な種類に分類されるリュウグウ。「はやぶさ2」は、このミッション達成のため、リュウグウの救いようのないでこぼこな地形とプログラムミスでの誤作動を乗り越え無事着陸。地表に弾丸を撃ち込み、岩の破片回収に成功する。挑戦は続き2ヶ月後、今度は爆撃でリュウグウに人工クレーターを作り、地下にあった物質が入った可能性の高いサンプルングも成功させる。1回目のサンプルだけでも人類未だのみに、地表と地下の異なるサンプルを持ち帰る「はやぶさ2」の価値は計り知れない。この分野での我が国の科学技術の高さは想像を遥かに超えている。今年12月の帰還は感動ものだろう。その瞬間をワクワクして待っている。

訃報

旧制耐久中学・高校同窓会役員として永らく母校のために活躍された斎藤春太郎先生(旧中40期)が昨秋10月に逝去されました。享年90歳でした。

特に創立150周年記念発刊「耐久校史」の編集に尽力された功績を讃えとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

『編集後記』

待ちに待った「2020」東京オリンピック・パラリンピックが、いよいよ開幕の時を迎えようとしています。競技はもちろんのこと、開会式では、どのような演出のもとで、感動的なパフォーマンスが繰り上げられるのか興味深いところですが。

さらに、今年は、私たち同窓会にとっても「梧陵翁生誕200年」を迎える記念すべき年です。「特集」では前寿仁氏から、梧陵翁の数々のエピソードや、幅広い交流網と業績等をご紹介いただき、改めてその偉大さを知ることができました。

「県庁耐久会」の記事については、当時300名の出身者がいたことに驚きましたし、皆さんの耐久に対する誇り、愛着心を感じることができました。

「絆」のコーナーで紹介されたソフトテニス部の生徒諸君には、部員数が減少する中で、練習を積み重ね、団体で男女共にシード権を守って活躍していることにエールを送りたいと思います。

最後に、今回も会報の発行に際し、多くの方々からご支援、ご協力いただきましたことに心から厚く御礼申し上げます。

